

授業科目名： 英語表現 (conversation)	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名：平岡 麻里 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・ 英語コミュニケーション		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ ・ 英語科教員に必要な会話を中心とした英語表現スキルをみがく。 ・ E-learning を通じて英語学習の習慣づけを行う。 ・ 独立した語学学習者になる。			
授業の概要 本授業は E-learning を通じ、さまざま動画を見て、語彙を学び、セリフを音読する活動を通じて、リスニングとスピーキングを強化することを目的としている。教材は EnglishCentral のサイト内にある動画から教育、英語学習、異文化理解に関するものを選択した本学独自のコースであり、指定動画は初級から上級までであるが、コース全体としての英語レベルは中級である。また、学生自身が選んだ動画による学修を組み合わせているため、自分の興味や英語レベルに応じて学修することも可能である。パソコン、スマートフォン、タブレットを使用し、場所や時間を選ばず学修できるこの授業で、学生には英語学習の習慣づけを行い、独立した語学学習者となる第一歩を踏み出してほしい。そのため、十分な学修期間（3～6 ヶ月を想定）をかけて継続的に学習できるように学修計画を立てることを強く勧める。			
授業計画 第 1 回：Introduction：Pronunciation, Word Stress and Intonation			

第2回：Unit 1: Education & Teachers 第3回：Unit 2: Classroom Language 第4回：Unit 3: English Lessons 第5回：Unit 4: Student Learning 第6回：Unit 5: The English Language 第7回：Unit 6: Teaching Skills 第8回：Unit 7: Educational Technology 第9回：Unit 8: Young Learners 第10回：Unit 9: Critical Issues 第11回：Unit 10: Teachers in Action 第12回：Unit 11: Miscellanies (1) 第13回：Unit 12: Miscellanies (2) 第14回：Unit 13: Miscellanies (3) 第15回：Unit 14: Miscellanies (4) 定期試験
教科書 EnglishCentral 『星槎大学 英語表現(conversation)コース』 2700 円（税別） ※2023 年度のコンテンツ登録および利用は 4 月 1 日から可能 （毎年内容更新があるため、過去のコンテンツや学修指導書は参照しないこと） 【購入方法】各自で指定サイト【学修指導書を参照】から教材へのアクセスコードを購入。商品は発送されず、メールにて必要情報を案内する形での納品となる。なお、EnglishCentral は無料登録も可能だが、この科目指定コースの学修はできない。必ず指定コースへのアクセスコードを購入した後、手順に従ってコースとして登録すること。
参考文献 （1）会話力とリスニングの関連について指摘している文献の例として以下を挙げる。 阿部公彦『理想のリスニング: 「人間的モヤモヤ」を聞きとる英語の世界』東京大学出版会 2020 年 [特設サイト: http://www.utp.or.jp/special/Listening/ (2023 年 1 月 13 日閲覧)] （2）発音とリズム・イントネーションの入門用参考書として以下を紹介する。 岩村圭南(2019)『改訂版 英語の正しい発音の仕方（リズム・イントネーション編）』研究社 —CD は別売りだが、自己学習には必要。なお、『…（基礎編）』では発音記号を学ぶ。 河合裕美, 高山芳樹(2021)『きいて・みて・まねて覚える英語の音—動画でできる音声指導』大修館書店 高山芳樹(2019)『最強の英語発音ジム「通じる発音」と「聞き取れる耳」をモノにする』アルク
学生に対する評価 レポート評価（50％）、科目修得試験（50％）を総合して評価する。